



## 真菌医学研究センター Monthly セミナー

平成26年12月9日(火) 10:00~  
千葉大学真菌医学研究センター 大会議室

### 細胞質内ウイルス感染センサーRLRの機能解析

感染免疫分野・助教 尾野本浩司

細胞には、ウイルス感染を認識して自然免疫を発動させる感染センサーが細胞外と細胞質内にそれぞれ独立して存在しており、細胞質内にはRIG-I, MDA5, LGP2からなるRIG-I-Like Receptor (RLR)と呼ばれるRNAヘリカーゼがウイルスRNAセンサーとして機能している。本研究では、ウイルス感染時におけるRLRの細胞内局在変化及びシグナル伝達機構について紹介し、RLRのウイルス認識メカニズムについて議論したい。

### 抑制性C型レクチン受容体による骨代謝機構

感染免疫分野・特任助教 矢部力朗

骨は、重力に対して身体を支える運動機能のほか、臓器を保護するなど大切な支持器官のひとつある。これまで骨の恒常性は、骨関連細胞が相互作用することにより複雑に制御されていると考えられていたが、ここ近年免疫システムも骨代謝に対して重要な役割を果たすことが明らかになってきた。我々は関節リウマチの研究からC型レクチン受容体が自己免疫疾患や骨代謝において重要な役割を果たすことが明らかになってきている。本セミナーでは、抑制性C型レクチン受容体による骨代謝及び炎症反応の制御機構について、これまで得られた研究成果について紹介する。

世話人：笹川千尋（千葉大学真菌医学研究センター長・東京大学名誉教授）  
知花博治（千葉大学真菌医学研究センター病原機能分野）  
高橋弘喜（千葉大学真菌医学研究センター微生物資源分野）  
連絡先：高橋弘喜（E-mail：hiroki.takahashi@chiba-u.jp）